

# 平成26年度 研修部活動計画

## 1 活動の重点

学習指導要領の理念を実現し、地域の信頼を得る創造的な学校経営を展開するために、校長会研究集会を開催して研修を深める。また、教育課程、生徒指導、同和教育の3委員会を設け、調査研究活動や研修活動に取り組み、校長の資質・指導力の向上を図る。

## 2 活動の概要

### (1) 校長会研究集会

#### ア 大会主題について

全連小大会主題 (H25～)

新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進

H27 新潟大会副主題

未来を生き抜く知を磨き 絆を強め 学び続ける子どもを育てる学校経営

#### イ 新潟大会副主題の趣旨

本大会副主題は、全国連合小学校長会の研修主題「新たな知を拓き人間性豊かな社会を築く日本人の育成を目指す小学校教育の推進」を受け、本県における学校教育の課題を踏まえて、設定したものである。

今日、知識基盤社会化、グローバル化、情報化が一層進展し、それにより競争が激化し、我が国を取り巻く危機的状況は広がってきている。東日本大震災からの復興という国民的課題をはじめ、少子化や高齢化の進展、雇用環境の変化など、日本社会は多岐にわたる課題に直面している。先行きの不透明感や閉塞感が強まり、人間関係の希薄化が進む中で、人と人との絆の大切さが改めて見直されている。

こうした激動の時代のなか、希望を抱き、困難な諸課題に立ち向かう気力と知恵をもって、異なる価値観をもつ多様な人々と共に協力・協働しながら、粘り強く問題解決に立ち向かう子どもの育成を願い、本副主題を設定した。

変化する時代の潮流や未来への課題を踏まえ、夢と志をもち、互いに磨き合い、様々な分野で豊かで創造的な知性を発揮し、主体的に未来を生き抜く力を身に付けた子どもを育てることが必要である。

また、人間性豊かな社会を築くためには、多様性を認め合い、他と協働し、共に支え合う人間関係をつくり、自制を伴った「開かれた個」を育てることが求められる。

さらに、よりよい社会の在り方を考えることができる日本人を育成するためには、課題解決に向けて自立的に行動し、絶えず自分や社会を見つめながら生涯にわたって主体的に学び続け、自己実現を図る子どもを育てることが求められる。

このような子どもを育てることができる意欲と力量をもった教師がいる学校の実現は、校長のビジョンと経営力によるところが大きい。時代の大きな変化を踏まえ、新しい時代に主体的に生き抜く子どもの育成という観点から、校長は新たな視点をもって創造性豊かな学校経営を推進していかなければならない。

そのために、校長が鋭い先見性と高い教育理念をもち、学校の実態に即した適切な教育課程の編成・実施・評価・改善が不可欠である。実践を通し、その成果を具体的な子どもの姿で示すことで、地域保護者の信頼を得るようにしなければならない。校長は、自らの使命を自覚し、リーダーシップを発揮して教職員の指導力を高め、活力溢れる学校づくりを進めるなど、組織の総力を挙げて教育課題解決に向けて努力していく。

本年度は、研究集会を平成 27 年度に開催される関ブロ新潟大会のプレ大会と位置づけ、新潟市での全県研究集会とする。関ブロ新潟大会を見据えつつ、これまでの研究集会の成果を生かし、学習指導要領全面実施 4 年目の実践について、具体的に協議し合うことを目指す。各校長は、ここでの協議を生かし、創意と活力に満ちた特色ある学校の創造に向けて、計画的に実践を重ねていくことが重要である。

#### ウ 基本方針

- ・ 大会主題の趣旨に基づき、討議し合う。その際、校長として「学校経営」の視点を明確にした内容となるようにする。
- ・ 分科会は13分科会とし、分散会を設け、少人数での協議ができるようにする。
- ・ 分科会では、大会主題とかわらせて、発表者の実践について討議し、成果をまとめるとともに、関ブロ新潟大会への課題を明確にする。そのために、分科会運営等については、十分な検討を加えるようにする。

#### エ 分科会の構成

全連小で挙げている重要事項（学校経営、教育課程、指導・育成、危機管理、教育課題）別に、関ブロ新潟大会の分科会構成をもとにして、以下の 13 分科会を設定し、分散会を設ける。

分科会		研究協議題	分散会	提言の視点
A	学校経営	創意と活力に満ちた特色ある学校経営	1	校長の教育ビジョンを実現する組織・運営体制の構築
			2	学校評価を生かした特色ある学校づくり、学校経営の推進
B	教育課程	生きる力を育む教育課程	3	確かな学力を育てる教育課程の編成・実施・評価・改善
			4	豊かな人間性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善
C	現職教育	資質・能力の向上を図る現職教育	5	組織の一員として機能する教職員の育成、研修体制の構築
			6	学校運営の核として、確かな展望をもち、行動できるミドルリーダーの育成
D	生徒指導	豊かな人間関係を築く生徒指導	7	自己有用感をもたせ、豊かな人間関係を築く教育活動の推進
			8	規範意識や社会性の育成を目指した教育活動の推進
E	道徳教育	豊かな心を育む道徳教育	9	豊かな心と道徳的実践力を育てる道徳教育の推進
			10	家庭・地域と連携した道徳教育の推進
F	特別支援教育	共に生きる力を育てる特別支援教育	11	一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
			12	通常の学級における特別支援教育の推進
G	人権・福祉教育	互いを認め合う心を育む人権教育及び福祉教育	13	自他の人権を尊重し合う心を育む人権教育の推進
			14	共生の心を育む福祉教育の推進

分科会		研究協議題	分散会	提言の視点
H	健康・安全教育	心と体を育てる健康・安全教育	15	心と体の健やかな成長を目指す食育や健康教育の推進
			16	自他の生命を尊重し、自ら安全な行動がとれる防災教育・安全教育の推進
I	学校・家庭・地域の連携	教育力を高め合う学校・家庭・地域の連携	17	コミュニティ・スクール制度など、地域とともに歩む学校づくりの推進
			18	互いの教育力を高め合う学校・家庭・地域等の連携の推進
J	国際理解教育	国際社会を主体的に生き抜く子どもを育てる国際理解教育	19	自他の文化を大切にしながら、国際社会を生き抜こうとする態度を育てる国際理解教育の推進
			20	コミュニケーション能力を育てる外国語活動の推進
K	環境教育	持続可能な社会の構築を目指す環境教育	21	地域の特性を生かした環境教育の推進
			22	体験的、主体的な取組を通して感性を育む環境教育の推進
L	情報教育	情報活用能力を育て情報モラルを高める情報教育	23	家庭や地域、関係機関と連携し、情報モラルを高めていく情報教育の推進
			24	情報を創造・表現・発信する能力を育てる情報教育の推進
M	教育課題	今日的課題に対応する教育	25	幼保・小・中などとの連携を生かした教育活動の推進
			26	豊かな未来の実現に貢献する力を育てるキャリア教育の推進

#### オ 期日・会場

・平成26年10月8日(水) 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター他

#### カ 平成26年度以降の校長会研究集会のもち方について

平成27年度の関ブロ新潟大会を見据え、「H25地区・H26全県(プレ)・H27全県(関ブロ)・H28地区の4年サイクルの研究集会」とした。1年目となった昨年度の地区別研究集会では、大会主題や分科会のテーマについての理解を深め、自分の実践に見通しをもつとともに、関ブロ新潟大会に向けての発表者を発掘した。2年目となる本年度の全県研究集会では、発表候補者による発表を行うとともに、各自が関ブロ新潟大会に向けて、実践を深める。3年目は、関ブロ新潟大会において、各都県の優れた実践に触れて各自が実践をさらに充実させる。4年目は、地区別研究集会で4年間にわたる実践の結果や成果を確認する。

#### (2) 第66回全国連合小学校長会研究協議会埼玉大会

(兼 第66回関東甲信越地区小学校長研究協議会埼玉大会) への参加

ア 研究主題 新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進

副主題 共に生きる知恵を磨き 心結ぶ未来社会をつくる 誇り高き子どもの育成

イ 期日 平成26年10月23日(木)～10月24日(金)

ウ 会場 さいたま市「大宮ソニックシティ」

エ 参加者 新潟県から61名 各郡市校長会へ割り当てる

#### (3) 委員会活動

教育課程委員会、生徒指導委員会、同和教育委員会の3委員会による調査研究活動の実施と関係諸会合への参加・研修活動を行う。

ア 教育課程委員会

教育課程の実施状況や教育課程にかかわる諸問題について調査研究を行う。アンケート及び聞き取り調査等から「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」の実情を探り、各校の教育課程の改善・充実のための資料とする。

イ 生徒指導委員会

生徒指導に関する実情について調査研究を行う。これまで、いじめや不登校、問題行動等の解消や未然防止を目指した「社会性の育成」をテーマとして、児童の実態や地域の実情に応じた創意ある取組について、広く調査研究を進めてきている。本年度もそれを継承する。「いじめ見逃しゼロ県民運動」の一環ととらえて、重点的に取り組んでいく。

ウ 同和教育委員会

新潟県同和教育研究協議会の各種委員の選出及び諸会議への出席、各種研究集会への参加態勢の確立などを通して、同和教育推進の活動を行う。また、新潟県同和教育研究集会、部落解放新潟県研究集会、「いのち・愛・人権」展等、同和教育にかかわる各種大会に参加して研修を進める。

(4) 全県研修部会の開催

- |   |     |    |                    |
|---|-----|----|--------------------|
| ア | 第1回 | 期日 | 平成26年5月14日(水)      |
|   |     | 会場 | 佐渡市「佐渡島開発総合センター」   |
|   |     | 内容 | 平成26年度研修部活動計画の概要決定 |
| イ | 第2回 | 期日 | 平成26年11月12日(水)     |
|   |     | 会場 | 新潟会館(会場予約未)        |
|   |     | 内容 | 研修部の活動のまとめ         |

ウ このほかに、関ブロ新潟大会の進捗に合わせて、随時必要な会議を開催する。